

非鉄金属市況と需給動向

2021年6月（銅、亜鉛、ニッケル、金・白金族）

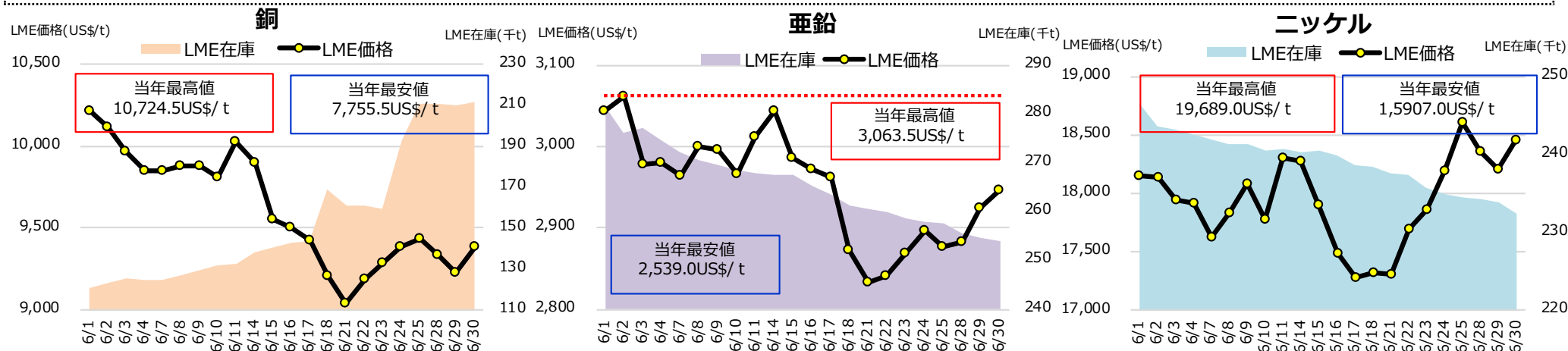
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

おことわり: 本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用である旨を明示してください。ようようお願い申し上げます。

ベースメタル市況動向

銅、中国の国備放出やFRBの金融緩和の引き締め観測で上昇基調が一転、10,000US\$/t台を割る ■6月市況動向

- ① **銅、G7サミットや中国の国家備蓄放出報道で下落**：銅は当月最高値の10,212.0US\$/tでスタート。上旬は、中国で2021年5月の銅輸入量がおよそ446千tと対前月比8%減少する等、銅価格の高騰によって川下の消費が抑制されたことから、高値警戒感による調整が入り下落傾向となった。11日は、ペルー大統領選挙の決選投票の結果、急進左派のCastillo候補が過半数を獲得、同候補が鉱業ロイヤルティ引き上げ等の資源ナショナリズム的な政策を主張していたことから、将来的な供給不足が懸念され、一時的に10,000US\$/tを上回った。しかし11～13日、英国で主要7カ国首脳会議（G7サミット）が開催され、台湾情勢や新疆ウイグル自治区、香港の人権問題に言及したことで、欧米諸国と中国の対立が明らかになったことを嫌気、更に中国当局が高騰する商品価格の抑制のため、さらなる管理強化を行うことを懸念し、投機筋が買いを控えたことも下げ要因となり、15日には9,552.5US\$/tまで急落した。16日、中国が価格の安定化を目的に、銅、アルミ、亜鉛等の国家備蓄を2021年7月に放出すると公表し、15日からさらに下落したが、市場では放出量が控えめとの見方が広がったため、大きな下落には至らなかった。
- ② **FRB、金融緩和の引き締めを前倒しに行う方針を公表**：15～16日にFOMC（米連邦公開市場委員会）が開催され、2023年末までに政策金利の利上げを行う見通しであることが示され、ドル高が進行したことを背景に、銅はこれまでの下落基調が一層加速し、21日に当月最安値となる9,042.5US\$/tまで下落、2021年4月以来2か月ぶりの安値となった。その後、FRBのパウエル議長が、2023年の利上げは決定事項ではなく、今後の景気回復状況や経済情勢を見て判断すると述べたことで、市場の警戒感が弱まり幾分値を戻し、9,385.0US\$/tで越月した。
- ③ **亜鉛、中国雲南省の電力制限で前半は高値を維持ニッケルは供給懸念が価格を下支え**：亜鉛は当月最高値の3,043.0US\$/tでスタート、中国雲南省の電力制限により亜鉛生産も一時影響を受け、前月に引き続き前半は高値圏を推移したが、雲南省の電力供給が徐々に回復し生産量が回復してきたこと等から後半は値を下げた。
- ④ **ニッケル、伯Valeでストライキによる操業停止**：ニッケルは当月18,147.0US\$/tでスタート。伯Valeは、加Sudburyニッケル・銅鉱山と製錬所で労働組合と労働協約案の交渉が決裂したことで事実上のストライキが勃発したことから、同鉱山と製錬所を一時操業停止した。これがリチウムイオン電池（LIB）用のニッケルペレットの供給を逼迫させているとの見方もあり、当月のニッケル価格を下支えした。



需給動向 - 銅 -

2021年1～3月の世界の銅需給バランス実績は12.9万tの供給過剰

■ 需要動向

- ① **国際銅研究会 (ICSG) 、2021年の世界銅供給過剰を予想**：4月29～30日に開催されたICSGの銅需給予想によると、**2021年は80千t、2022年は110千tの供給過剰**。6月21日発表によると、2021年1～3月の世界の銅需給バランス実績は**12.9万tの供給過剰**。
- ② **中国、5月銅地金と銅製品の合計輸入量・銅精鉱輸入量共に増加**：中国税関総署の6月7日発表によると、5月の中国の銅地金と銅製品の合計輸入量は2020年5月比2.2%増の44.6万t、物量ベースでの5月の中国の銅精鉱輸入量は2020年5月比15.1%増の195万t。

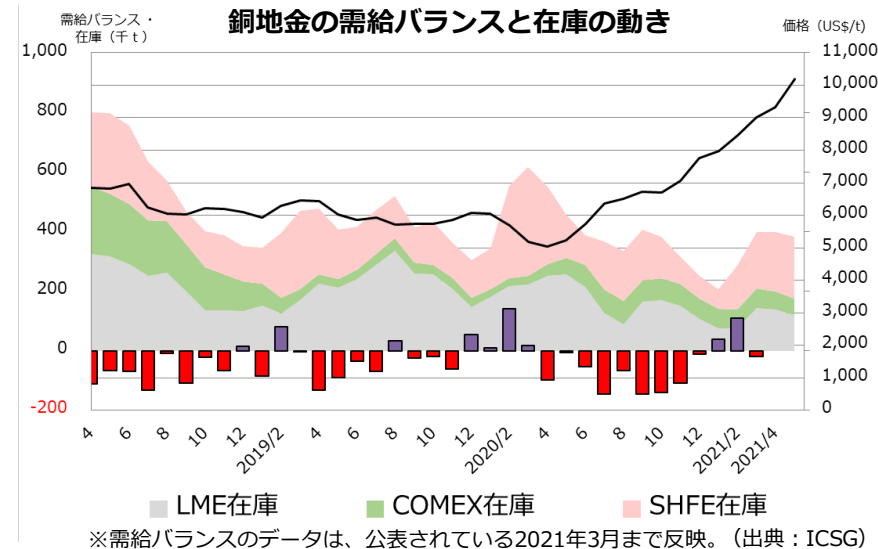
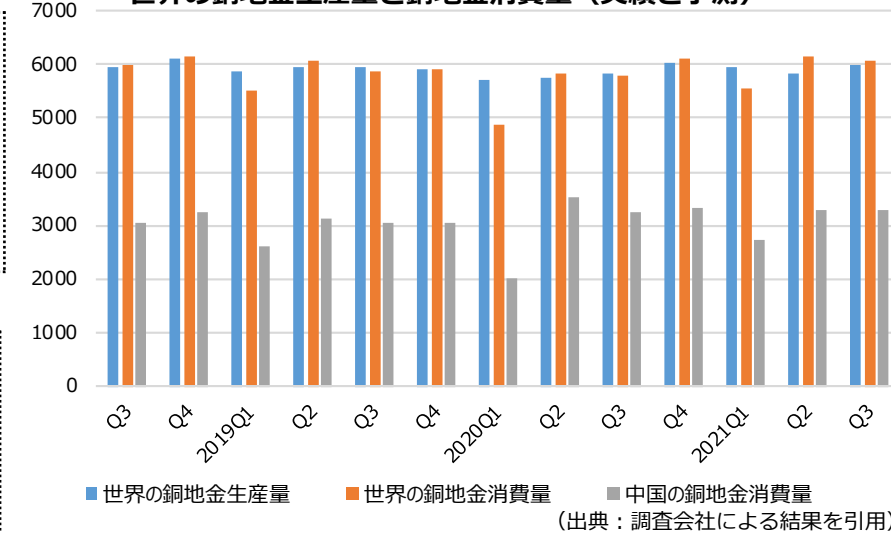
■ 供給動向

- ① **ペルー：5月銅生産量、対前年同月比52.6%増の19.6万t**：2020年3～5月はCOVID-19に係る国家緊急事態令に伴い鉱山操業が大幅に抑制されていた一方、2021年は生産レベルが大きく回復。Cerro Verde鉱山（対2020年5月比5.1%増）、Las Bambas鉱山（同36.5%増）、Antamina鉱山がここ8か月間で最大の生産量を達成（7月7日）。
- ② **チリ：5月銅生産量、対前年同月比1%減の48.7万t**：Cochilcoによると2021年5月銅生産量は12か月連続で前年同月を下回った。CODELCOは143.3千t（対2020年5月比6.2%増）となった一方、Escondida鉱山は84.8千t（同10.1%減）、Collahuasi鉱山は57.9千t（同3.8%減）、Los Pelambres鉱山は28.5千t（同22.8%減）（7月7日）。
- ③ **インドネシア：政府、鉱物等に対し付加価値税の拡大・引き上げを計画**：2020年から石炭に課されている付加価値税（VAT）10%が鉱物にも拡大、12%に引き上げられる可能性。政府は2022年発効を目指し、2021年中に国会で審議する見込み（15日）。

■ 企業動向

- ① **Vale (加)**：Sudburyニッケル・銅鉱山労働組合は、労働協約案の受け入れを再び拒否。本ストライキの影響により、同鉱山及び製錬所の操業は6月1日以降停止（14日）。
- ② **Ivanhoe Mines (加)**：Kamoa-Kakula銅鉱山の銅精鉱・プリスターにつき、中CITIC Meta社と中Zijin Mining（紫金鉱業）の子会社Gold Mountains International Mining Company社とオフテイク契約を締結。両社が製品の半々を引き取る（15日）。

(単位：千t) 世界の銅地金生産量と銅地金消費量（実績と予測）



需給動向 - 亜鉛 -

2020年4月は鉱石生産量が減少、需要増加で供給不足に、中国が2021年7月に国家備蓄放出と発表

■ 需給動向

- ① ILZSGによると、2021年4月の鉱石生産量は1,061.7千t（対前月比2.0%減、21.7千t減）で、欧州や中国は増加したが、ペルーやカザフスタンの減少分が大きく、全体に影響した。
- ② 2021年4月の地金生産量は1,162.2千t（対前月比1.2%増、14.0千t増）、地金消費量は1,189.1千t（対前月比3.6%増、41.6千t増）で26.9千tの供給不足となった。地金生産量はカナダ、メキシコ、中国の増加が貢献、地金消費量は中国が584.0千tと対前月比6.2%増（34.1千t増）が世界全体の伸びを押し上げた。
- ③ ILZSGによると、2021年1～4月の需給は31千tの供給過剰であった。2020年1～4月はコロナの影響で需要が落ち込んだことから256千tの供給過剰だったが、需要回復により過剰幅が縮小した。

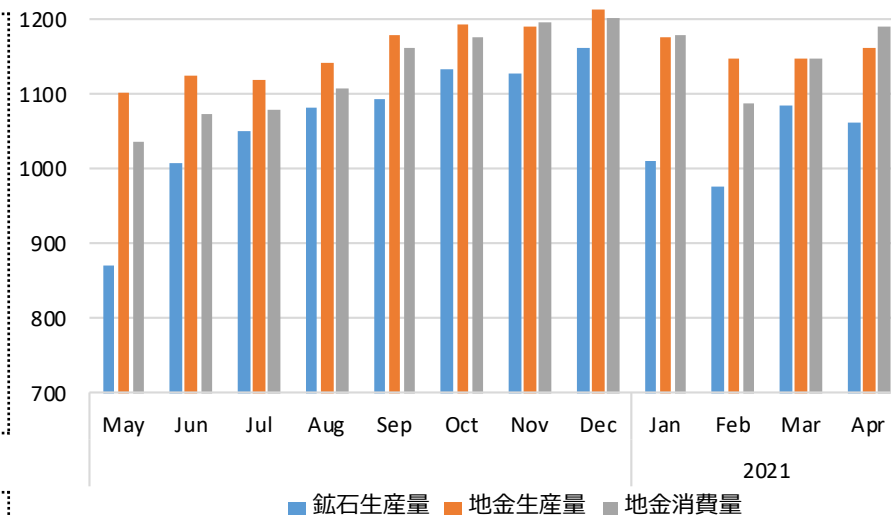
■ 関連需要動向

- ① **世界の自動車生産台数**：各種報道によると、2021年4月は6,825.3千台と対前月比16.2%減（8,146.2千台）。日本、中国、インド、米国といった主要生産国で軒並み生産台数が減少した。
- ② **日本の亜鉛めっき鋼板生産量**：（一社）日本鉄鋼連盟によると、2021年4月は815千tと対前月比8.2%減（888千t）。前月の高水準からは減少したが、800千t台を維持した。

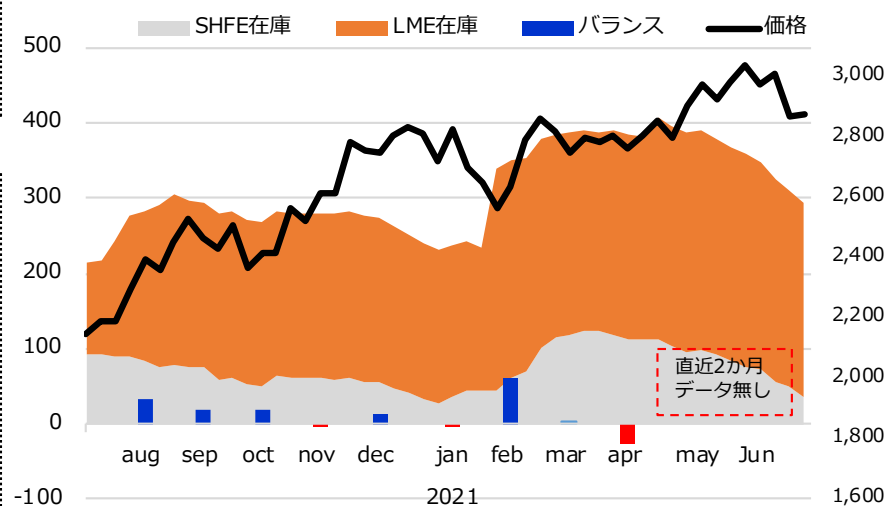
■ 企業動向・その他

- ① **PT Kobar Lamandau Mineral社（インドネシア）**：同社傘下の製錬所が2023年第1四半期に操業開始予定。地金（99.99%）の生産能力は68千t/年の見込み（5日）。
- ② **Hudbay Minerals社（加）**：Lalor金・銅・亜鉛鉱山（MT州）にて、坑内掘り作業中に労働者1名が事故で死亡、当局の調査完了まで全ての坑内掘り作業を停止（19日）。
- ③ **中国**：雲南省の電力供給が2021年6月中に改善見通し、亜鉛生産も6月中旬にフル生産に戻る見通し（9～10日）。
- ④ **中国**：国家糧食・物資備蓄局（SRA）、国家備蓄の亜鉛3万tの放出を発表、放出先は中国国内の加工・製造業者で、公開入札は2021年7月5～6日の予定（22日）。

(単位：千t) 亜鉛鉱石生産量、地金生産量・消費量の推移（月別）



(単位：千t) 亜鉛地金の需給バランスと在庫の動き (単位：US\$/t)



需給動向 - ニッケル -

需給ともに堅調、ストライキなどで供給懸念が生じるも複数の新規プロジェクトや拡張計画が進展

■ 需要動向

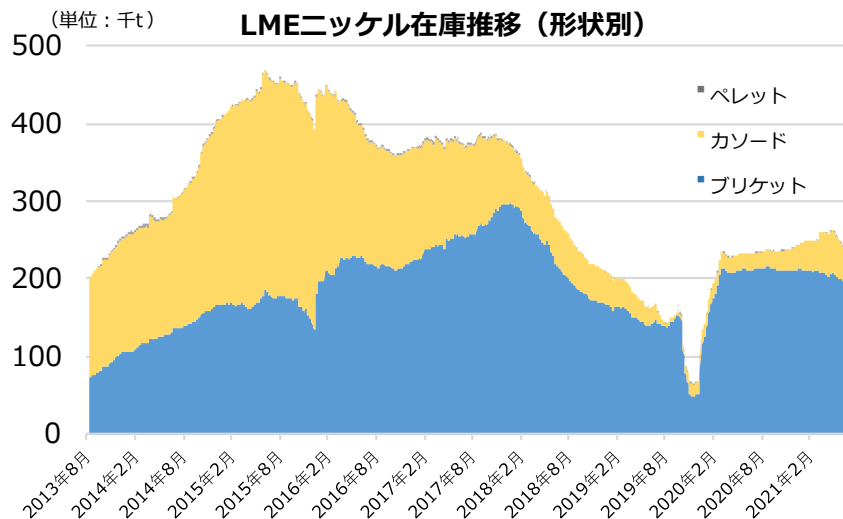
5月世界粗鋼生産量は174百万t：世界鉄鋼協会（WSA）が6月22日公表した統計によると、5月の世界粗鋼生産は前年同月比16.5%増加し、174.4百万tとなった。新型コロナウイルス対策の緩和で経済活動が一段と活発になり、世界的にインフラ需要が堅調である模様。一方、最大の需要国である中国の粗鋼生産量は前年同月比6.6%増となったが、同国の生産量の伸びは、中国政府の温暖化ガス排出抑制策を背景に今後鈍化していくとみられる（23日）。

■ 供給動向

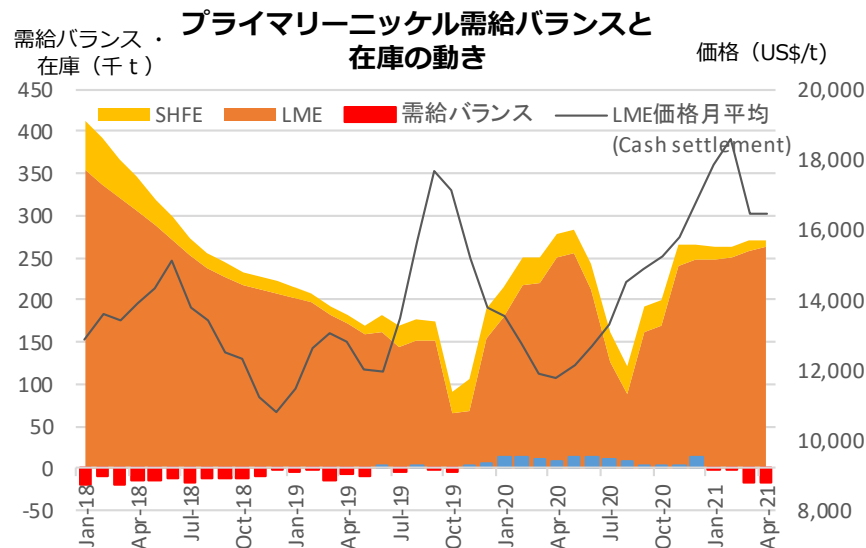
- ① **需給バランス**：国際ニッケル研究会（INSG）によると、2021年4月の世界ニッケル需給バランスは**15.6千tの供給不足**となった。
- ② **尼で3件のニッケル製錬所が2021年中に開始予定**：エネルギー・鉱物資源省のRidwan Djamaluddin 高官は、PT Smelter Nickel Indonesia、PT Cahaya Modern Metal Industri、PT Antamの3件のニッケル製錬所が2021年中に操業を開始する予定と公表。なお、PT Smelter Nickel IndonesiaとPT Cahaya Modern Metal Industriの2件については、既に試運転を開始したが、PT Smelter Nickel Indonesiaは資金調達のため一時操業を停止している（8日）。
- ③ **露、8～12月で輸出関税を課す予定**：商品価格の高騰を背景に、ニッケル、アルミニウムなどに輸出関税をかけ、物価高騰からインフラ産業を保護する方針を公表（24日）。

■ 企業動向

- ① **Vale（伯）**：加ON州Sudburyニッケル鉱山において、労働組合によるストライキが発生したため、同鉱山と製錬所の操業を一時停止（1日）。また、同社はVoisey's Bay鉱山で坑内掘りによる採掘を開始したと公表（15日）。
- ② **Nornickel（露）**：Zapolyarnyニッケル鉱山の拡張計画を公表（29日）。
- ③ **宝鋼集団（中）**：同社子会社の太原鋼鉄（Tisco）と、PTVI及びXinhai社間で、尼MorowaliのBahodopiニッケル製錬所の操業について協力枠組契約書を締結（24日）。



（出典：Bloomberg）



（出典：INSG）

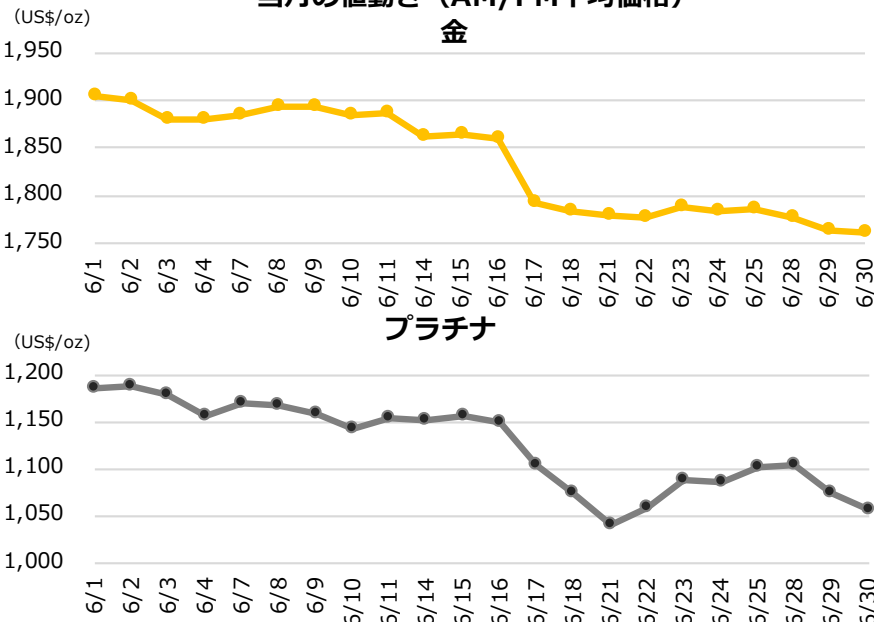
需給動向 -金・白金族-

米ゼロ金利政策解除発表で急落、金は1,700US\$/oz台に、PGMも自動車生産低迷で下落基調に

■金市況動向

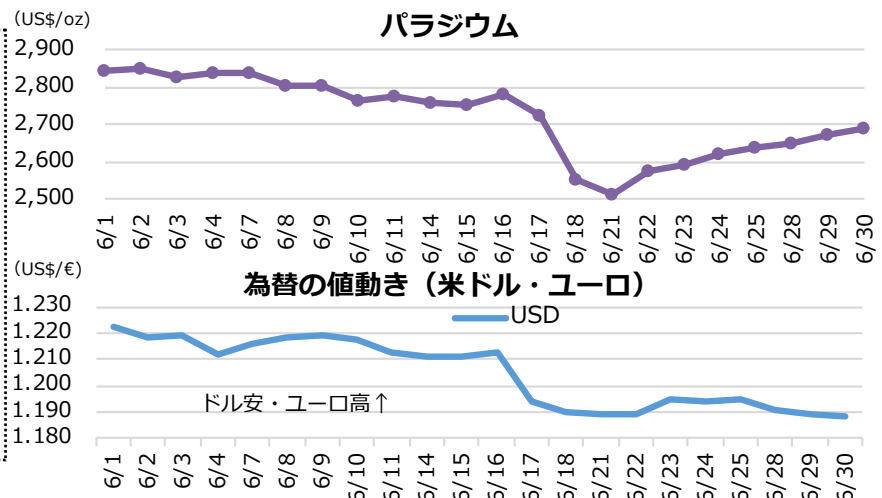
- ① **米金融緩和の早期縮小観測後退も、最大消費国の中・印で需要減退し横ばい**：当月最高値となる1,903.5US\$/ozでスタート、4日公表の米国非農業部門雇用者数が+559千人と市場予想(+675千人)を下回り、金融緩和の早期縮小観測が後退したことで、7日にわずかに上昇した。しかし中国で1日、反マネーロンダリング法の改正草案が公表され、投機筋が手じまい売りを行ったほか、インドでコロナの変異ウイルス再拡大により一時回復した需要が再び減退していること等が上値を抑える結果となり、月前半は1,800US\$/oz台後半でほぼ横ばい推移した。
- ② **米FOMCのゼロ金利政策解除発表で急落、値は戻らず1,700US\$/oz台で推移**：米連邦公開市場委員会(FOMC)が16~17日の会合にて、米国景気回復と物価上昇の加速を受け、2023年中にゼロ金利政策を解除と示し、利上げ前倒しとされたことで長期金利が上昇、17日に対前日比70US\$/oz近く急落し1,792.7US\$/ozをつけた。その後、23日には米連邦準備制度理事会(FRB)パウエル議長の発言が注目されたが目新しさに欠け、自律反発により対前日比10US\$/oz程値を戻した。しかしその後手掛かり材料に欠け、月前半から100US\$/oz以上下げた値が戻ることはなく、1,760.5US\$/ozで越月した。

当月の値動き (AM/PM平均価格)



■白金族 (PGM)

- ① **プラチナ・パラジウム市況**：月を通じて高値圏での推移にはなったものの、自動車生産台数が半導体の供給不足等が原因で低迷、これに伴いプラチナ、パラジウム需要も減少傾向で、価格は下落基調となった。プラチナは1,186.0US\$/oz、パラジウムは2,846.0US\$/ozでスタート、翌2日に当月最高値の1,188.5US\$/oz (Pt)、2,850.0US\$/oz (Pd) をつけ、ほぼ横ばいの緩やかに下落基調にあったが、17日、FOMCの利上げ前倒し見通しにより、他鉱種と足並みを揃えるように急落した。この流れから21日に当月最安値の1,040.0US\$/oz (Pt)、2,515.5US\$/oz (Pd) をつけたが、その後自律反発により幾分値を戻し、1,056.5US\$/oz (Pt)、2,690.0US\$/oz (Pd) で越月した。
- ② **Nornickel社 (露)**：2021年2月に発生した坑内漏水事故で操業を停止していたTaimyrskyニッケル・銅・PGM鉱山が1日に操業再開、6月末までにフル生産に戻る見通し(4日)。

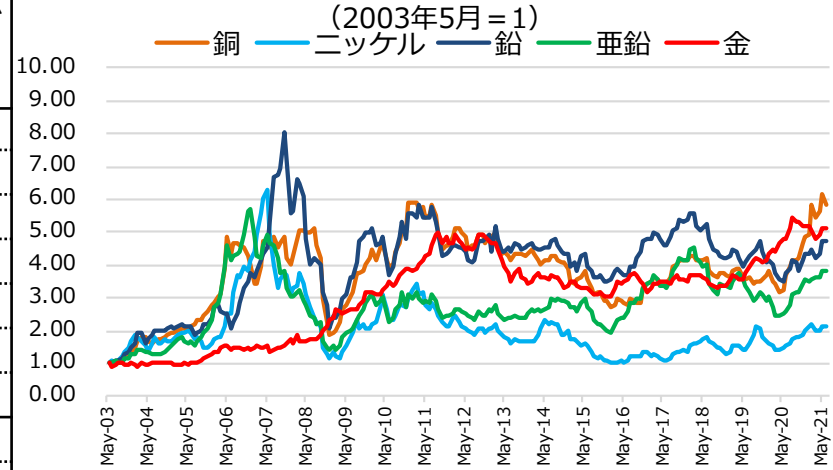


(参考)

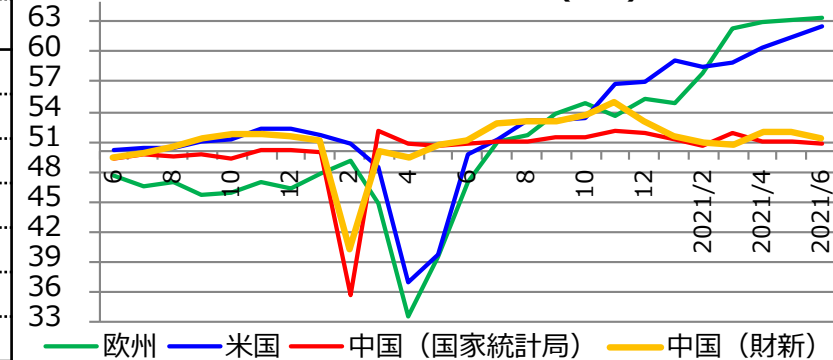
		銅	亜鉛	ニッケル	金	プラチナ	パラジウム
		LME現物 (US\$/t)	LME現物 (US\$/t)	LME現物 (US\$/t)	AM・PM平均 (US\$/oz)	AM・PM平均 (US\$/oz)	AM・PM平均 (US\$/oz)
本報告期	期初	10,212.5	3,043.0	18,147.0	1,903.5	1,186.0	2,846.0
	期末	9,385.0	2,945.5	18,450.0	1,760.5	1,056.5	2,690.0
	最高値	10,212.5	3,061.5	18,611.0	1,903.5	1,188.5	2,850.0
		6月1日	6月2日	6月25日	6月1日	6月2日	6月2日
	最安値	9,042.5	2,832.0	17,287.0	1,760.5	1,040.0	2,515.5
		6月21日	6月2日	6月17日	6月30日	6月21日	6月21日
	平均	9,612.4	2,950.1	17,943.2	1,835.3	1,124.6	2,721.9
先物 (6月30日)	3か月	9,405.5	2,945.5	18,440.0	-	-	-
	Dec 1	9,343.0	2,910.0	18,494.0	-	-	-
	Dec 2	-	-	-	-	-	-
2021年 (当年)	期初	7,918.5	2,775.0	17,344.0	1,973.0	1,109.5	2,436.5
	期末	9,385.0	2,945.5	18,450.0	1,760.5	1,056.5	2,690.0
	最高値	10,724.5	3,063.5	19,689.0	1,944.6	1,286.0	2,993.5
		5月10日	5月18日	2月22日	1月6日	2月16日	5月4日
	最安値	7,755.5	2,539.0	15,907.0	1,688.2	1,029.5	2,252.0
		2月2日	2月2日	3月9日	2月26日	1月11日	2月3日
平均	9,092.0	2,831.5	17,466.0	1,805.5	1,170.2	2,592.4	

主要非鉄金属の価格推移

(JOGMEC作成)



製造業購買担当者景況指数(PMI)



米国経済	6月の製造業PMI (IHS Markit社発表) は62.6 (前月: 61.5、予測: 61.5) と、前月及び予測ともに上回った。6月非農業部門雇用者数は前月比85万人増 (前月: 55.9万人増、予測: 72万人増) と、前月を大幅に上回った。失業率は5.9% (前月: 5.8%、予測: 5.6%) と、ほぼ横ばいとなった。
中国経済	6月製造業PMI (国家統計局発表) は50.9 (前月: 51.0、予測: 50.8) と、前月からほぼ横ばいだったが、財新発表は51.3 (前月: 52.0、予測: 51.9) と、前月から小幅に下落した。
欧州経済	6月製造業PMIは63.4 (前月: 63.1、予測: 63.1) と、前月及び予測より小幅に上昇した。